

岡崎市、岡崎商工会議所、岡崎ものづくり推進協議会は13、14の両日、同市高隆寺町の岡崎中央総合公園で「第5回ものづくり岡崎フェア2016」を開催する。ものづくり企業が一堂に会し新製品、新技術をアピールする展示会と、最先端の技術や経営について学ぶ講演会が予定されている。2日間で7千人の来場者を見込んでいる。(岡崎)

## 新製品や新技術一堂に

展示会のテーマは「技術力を高める新たな提案」。前回より3社増の114社・機関が出展する。内訳は三河地域から99社が参加し、うち66社が岡崎市内の企業。30社(うち岡崎市内15社)が初出展となっている。愛知県内の工業系大学10校と公設試験研究機関を合わせた15機関が、企業との共同研究・委託研究などの成果をアピールする。

また、岡崎の市制100周年記念事業の一環として、市内食品メーカー6社の新製品展示や、親善都市・福山の商

### 13日から「ものづくりフェア」

岡崎市など 114社・機関が出展

工会議所の企業8社がブース出展する特別企画も行う予定。会場は総合体育館。開催時間は午前10時から午後5時。

講演会は第1錬成道場で開催する。13日が午前11時から「デンソーにおける高度運転支援、自動運転技術への取り組み」(講師は加藤良文デンソー常務役員)と、午後3時から「自動車技術と産業構造の変革への中小企業の取り組み」(松島正秀日本自動車部品工業会技術担当顧問)。

14日が午前11時から「時代

に向き合い、人に寄り添う」

(岡谷篤一名古屋商工会議所会頭・岡谷鋼機社長)と、午後1時半から「町工場が生き抜くための経営改革と人材確保・育成」(突然主婦から社長になった2代目社長の10年戦争)(諏訪貴子ダイヤ精機社長)。現在、聴講申し込みを受け付けている。定員は各回120人。参加費は無料。

同フェア会場へは、名鉄東岡崎駅から無料シャトルバスが運行される。問い合わせは、岡崎商工会議所内の岡崎ものづくり推進協議会事務局(電話0564・53・6191)まで。